

交通安全施設等整備事業 一般国道372号 (仮称) 道の駅姫路



工程表

工種	年度				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計					
用地補償					
工事					

目的

- ① 休憩機能
24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- ② 情報発信機能
道路情報、地域の観光情報の提供
- ③ 地域連携機能
文化教養施設、地域振興施設

事業概要

事業概要：道の駅整備(一体型)
 面積：約6,700㎡
 施設：駐車場(小型車45台、大型車12台)
 休憩施設、トイレ、情報提供施設
 所在地：姫路市飾東町豊国
 総事業費：約7.5億円
 (内用地補償費：約1.3億円)
 事業期間：令和6年度～令和10年度
 交通量：自動車 10,926台/12h (実測)

【関連事業】姫路市
 ・地域振興施設整備
 面積：約22,000㎡
 施設：物販・飲食施設、駐車場、
 大屋根広場 等

事業の必要性・優先性

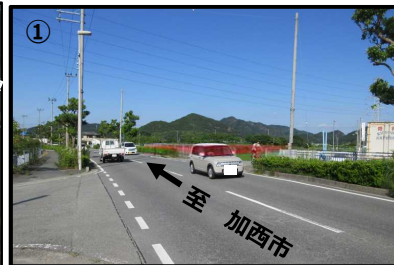
- ① 事業箇所周辺は山陽道姫路東IC、播但道花田ICがあり、周辺には「道の駅」など24時間無料で利用可能な駐車・休憩施設がない。
- ② 姫路市への観光客の7割が自動車を利用しているが、道路情報や地域の観光情報を提供する施設がない。
- ③ 姫路市が設置者として市内初の「道の駅」整備事業を推進しており、接道する道路管理者として一体型の整備が必要。

道の駅整備状況図



電子地形図（国土地理院）を加工して作成

現況



道の駅の基本方針

1. 播磨の実力ある産品があふれ触れることのできる魅力的な場
2. 子どもが楽しめ三世代が楽しめる世代を超えた交流の場
3. 観光客や市民が集う地域を越えた交流の場

3つの利用者像と導入機能

1. 旅行者へのおもてなし

- ・地域の農業・食文化・皮革製作などの体験
- ・地元播磨の新鮮な農産物・海産物の物販施設



体験スペース



地域振興施設

2. こどもの遊び・体験

- ・芝生広場、遊具・水遊び場、屋内こども遊び場
- ・夏休みの工作などイベント開催



こどもの遊び場



イベントスペース

3. 地元・周辺住民の利用

- ・交通の結節点
- ・有事の際の防災拠点機能



交通結節機能



防災拠点機能

出典：「(仮称)道の駅姫路」基本計画概要版